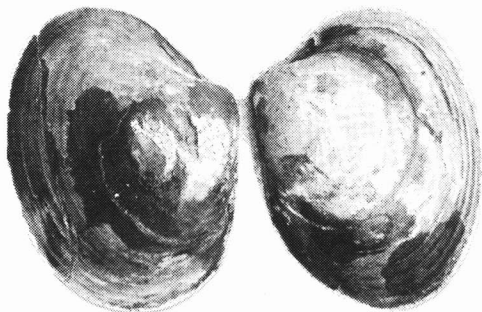


< 目で見る資料 >

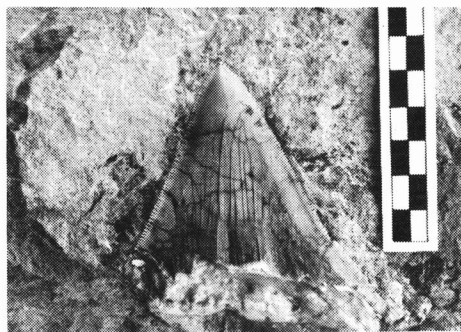
地方の文化施設にある標本を教材に生かそう

— その2 — 耶麻郡 高郷村郷土資料館



ウバトリガイ

時代…新生代，新第三紀・中新世
冷たい海の，深さ50～200 mの砂底にすむ。
前後の長さ約9 cm。



サメ(カルカロドン・メガロドン)の歯
時代…新生代，新第三紀・中新世
巨大なサメで，体長約20 mもあったらしい。

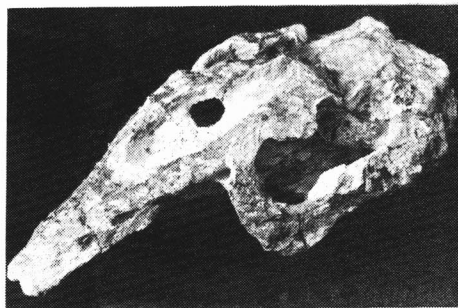


モガミバイ
時代…新生代，新第三紀
中新世
温水～冷水の海，深さ
50～200 mの海底にすむ。
殻の高さ約8 cm。

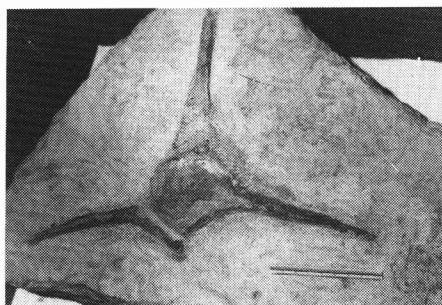
写真提供 県立喜多方女子高校 小林昭二氏
高郷村郷土資料館 渡部 正氏



アシカ類の左の上腕骨化石
時代…新生代，新第三紀・中新世
アシカ上科の上腕化石としては大変珍しい。



アイスタカサトカイギュウ
(左上からみた頭骨化石)
時代…新生代，新第三紀・中新世
冷たい海にすむ，全長約5 m。
オオカイギュウの仲間では日本最古の化石。



クジラの脊椎骨の化石
時代…新生代，新第三紀・中新世
哺乳類最大の動物で，これは横突起における
左右幅約60 cm。